

令和2年度事業報告

少子高齢化が益々進行する中、当センターでは、高齢者が長年培ってきた豊富な知識、経験、技能を活かして地域社会に貢献できるシルバー人材センターを目指し、「自主・自立、共働・共助」の基本理念のもとに、理事会、委員会及び地域班を中心に、会員主導の事業運営を推進しながら、会員の増強、受注拡大に努めてまいりました。

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症が世界中に拡散、東京2020オリンピック・パラリンピックの延期や学校の休校、イベント・集会等は中止、緊急事態宣言により外出や飲食店の時短営業などが強いられ、日本のみならず世界経済が脅かされる異例の事態となりました。当センターにおいても感染拡大予防対策として会議や委員会の中止、愛デアキッチンの営業自粛、各事業所から休業の通告など随所に影響が出ました。また、会議や研修は、オンラインに移行するなど、パソコン環境を整え、新生活様式を取り入れました。

会員拡大に向けた啓発チラシには、求人内容や配分金を掲載し、興味をもってもらうよう工夫し、また、入会説明会では、開催日に予定が合わない希望者には個別で日時を設定するなど会員の増強に努めました。

また、女性会員拡大に向け、魅力あるセンター事業を実施するため女性委員会の設置をおこない事業の企画をしましたが、新型コロナ禍で活動を自粛する形となり、次年度の就業や生きがい活動に向けたアンケート調査をおこないました。

第3次中期計画の目標に対する実績は、会員数310名に対して257名(82.9%)、契約金額1億1200万円に対して8,731万2千円(78%)でありました。目標達成に繋げるためには更に多様化するニーズに対応できる会員の確保が重大な課題となっています。

以下、令和2年度事業実績について報告します。

1 会員の拡大と入会促進

- ・継続事業として「新入会員紹介カード」により会員1名が1名以上を目標に新規会員の獲得に努め、入会登録まで導いた紹介者2名には愛デアキッチンの食事券を贈呈した。
- ・女性会員拡大のため女性理事を中心に女性委員会「ねえねの会」を設置した。
- ・シルバーだより、町広報紙、ホームページ、自治会回覧板、チラシのポスティング、公用車のマグネット掲示板などを通して会員募集を実施した。
- ・令和2年度の会員状況は、入会者24名、退会者38名で年度末会員数は257名となり昨年度に比べ14名の減少となった。

2 就業機会の確保及び提供事業（請負、委託）

- ・会員の就業機会の確保及び拡充を図るため、就業開拓委員や地域連絡員による一般家庭・事業所及び公共機関等への就業開拓活動を実施した。
- ・独自事業として、愛デアキッチンのうどん事業、焼き芋販売、惣菜ランチ事業にお持ち帰り惣菜販売を、コロナ・飛沫防止対策を徹底しながらおこない、愛デア工房（木工・小物づくり事業）では、コロナ対策をおこない会員の手作りマスクをロビーで展示販売し好評を得た。
- ・東郷町より委託事業として、東郷町役場の手摺等一部消毒業務、家具転倒防止器具の取付業務、介護予防・日常生活支援総合事業について受託した。
- ・生活応援隊（ワンコインサービス）、家事援助サービスで、高齢者世帯などの困りごとに対応しながら地域貢献に努めた。
- ・会員の就業実績は、受託件数 1,256 件（前年度比 13.4%減）、就業延人数 18,833 人（前年度比 11.5%減）、配分金 75,765,549 円（前年度比 12.4%減）となり、草刈の危険個所の是正や新型コロナによる影響もあり、配分金実績、受託件数ともに減少となった。会員不足の解消に向け、お客様満足度調査や会員の意向調査を実施した。

3 労働者派遣事業（派遣）

- ・会員の多様な就業形態に対応するため、愛知県シルバー人材センター連合会の東郷町事務所として労働者派遣事業を実施し、就業延人員 1,753 人（前年度比 12.6%減）、派遣事業総額 10,546,441 円（前年度比 8.7%減）となり、事務手数料分 1,035,312 円（前年度比 24.7%減）が労働者派遣事業受託収益として東郷町事務所の財源となった。

4 職業紹介事業（雇用）

- ・会員の多様な就業形態に対応するため、愛知県シルバー人材センター連合会の東郷町事務所として、有料職業紹介事業を実施した。

5 ワークプラザ維持管理受託事業

- ・東郷町高齢者ワークプラザの管理運営を通して、飛沫防止対策を徹底し、高齢者の就業機会の拡大、愛デアキッチンのうどん・惣菜ランチ・焼き芋事業、愛デア工房の木工・小物づくり小物事業をおこない、シルバー人材センターの存在を PR した。

6 講習会等の実施事業

- ・高齢者の入会促進及び会員の希望する業務分野の技能を習得して、就業に

繋げることを目的に、庭木の剪定技能講習会を屋外で、草刈り講習会を、飛沫防止対策を施し各1回実施した。襖講習会は三密を避けるために中止とした。

7 調査研究及び相談事業

- ・需要に応えられる体制づくりを検討するため、発注者向けに「お客様満足度調査」、会員向けに「意識調査」を実施した。
- ・全国シルバー人材センター事業協会、愛知県シルバー人材センター連合会、尾東地区シルバー人材センター事務連絡協議会において連携強化を図り、情報交換・情報収集に努めた。
- ・毎月、新入会説明会を開催する第1・第3火曜日、12月随時、女性限定説明会に、高齢者からの就業相談に対応するほか、10月、11月を相談月間として未就業会員や地域の高齢求職者などに就業に関する情報提供をし、日常の会員の困りごとなどにも対応した。

8 安全・適正就業推進事業

- ・安全意識の向上、事故防止を図るため、安全適正就業委員会を3回開催し、就業先への安全就業パトロールを6回実施した。
令和2年度の事故件数は、傷害事故2件、賠償事故1件であった。安全就業委員会では重大事故に繋がる可能性のある草刈現場の是正をおこなった。また、新型コロナウイルス感染予防策を全会員に周知し、感染リスク等について各事業所の就業状況などの聞き取りをおこなった。

9 独自事業の推進

- ・東郷町高齢者ワークプラザにおいて、飛沫防止対策をし、自粛期間を設け「愛デア工房」で、会員の技能を活かした手作り小物・木工製品の制作販売をし、「愛デアキッチン」では、水曜日に惣菜ランチを、金曜日にうどん定食、焼き芋を提供して地域の方々に利用していただいた。
- ・特に「愛デア工房」では、新型コロナウイルス拡大予防のため、マスクの供給不足に着目をし、手づくりマスクの販売をおこなったところ好評であり実績をあげることができた。

10 普及啓発事業

- ・会員への入会の促進、就業情報の提供を図るため、ホームページによる啓発やシルバー機関紙「東郷のなかま」を年2回発行、町広報誌へ毎月掲載、自治会回覧を1回実施、広報委員会によるチラシの配布をおこなった。また、10月、11月をシルバー事業普及啓発促進月間とし会員による、新入会

員紹介カードの配布、ロコミ運動、役員・委員・職員等による各地区に分かれ、チラシのポスティングを実施した。

1 1 事業推進体制

- ・公益社団法人として書面による定時総会を6月に開催し、前年度の事業報告及び決算等が承認された。また、理事会を定例会として12回開催（うち9回書面議決）し、入会員の承認をはじめ平成31年度（令和元年度）の決算関係の予算執行状況や補正予算、令和2年度の事業計画及び予算などについて審議し承認された。また、第3次中期計画の4年目の年であり、目標数値を意識して推進したが達成に至らず、発注者の需要に応えられる会員拡大が先決問題となっている。
- ・安全就業委員会、就業開拓委員会、広報委員会、地域班会議を随時（一部書面表決）開催し、事業推進の機能強化を図った。
- ・事務所内の経費節減に努め、事務局職員の目標管理の実施や県シルバー連合会等のオンライン研修会に積極的に参加し職員の資質向上・人材育成に努めた。

1 2 その他

- ・地域支え合い協議体に参加し情報収集をしながら、東郷町高齢者支援課及び東郷町地域包括センター（北部・南部）と調整して啓発に努めた。
- ・会員の「楽友同好会」では、新型コロナウイルス拡大予防もあり、活動を自粛、来年度に向けた企画を話し合った。
- ・全国シルバー人材センター事業協会、愛知県シルバー人材センター連合会、の実施する会議や研修会は新型コロナウイルス拡大予防に対応したオンライン研修となり、オンライン環境に対応するため、事務所の機器設備を整えた。